



経済産業省経済産業政策局  
産業再生課 編

ISBN : 978-4-8065-2981-1  
経済産業調査会刊  
A5判・151ページ  
定価1,800円(税抜)  
2016年7月28日刊

## 新産業構造ビジョン

### 第4次産業革命をリードする日本の戦略

本書は、経済産業省の産業構造審議会・新産業構造部会(部会長・伊藤元重東京大学教授)が、関係省庁と一体となって策定(平成28年4月27日に中間整理)した結果を書籍化したものである。

政策に関する解説書なのでじっくりと行間を読んでいく必要があるが、第4次産業革命(IoT、AI、ビッグデータ、ロボット)をリードし、日本のプレゼンスを上げる戦略の骨子がまとめられた野心作である。

「第4次産業革命の第一幕では、バーチャル空間は、GAF(A: Google, F: Facebook, A: Amazon)支配下にあるが、第二幕では、リアルデータを生み出すリアル空間は、現場力の発揮如何で日本は競争優位なポジションを得る可能性を秘めている」と本書は主張している。経済社会システムの見直しはこれからであり、そこに、新産業構造部会は活路を見出している。

具体的には、基本戦略による産業構造の転換と、就業構造の転換を目指した7つの方針と7つの我が国の具体的な戦略が解説されている。しかし、参考資料集で指摘されているように日本の弱みとして、(1)パッケージソフトウェアの国際的な劣位、(2)データ利活用の人材不足、(3)ビジネスモデルの不足などの懸念点がある。これらは、まさにソフトウェア分野の弱みであり、我々自身が克服すべき課題である。

第4次産業革命の果実を取るには課題を克服する必要があるが、我々に与えられた時間はあまり多くない。スピード感溢れる実行戦略が求められている。

その意味で、真誠惻怛の思いを込め、マイケル・ポーターの競争戦略論と併せて現場レベルで熟読すべき本である。(久保 忠伴)



Dave H. Hoover,  
Adewale Oshineye 著  
柴田 芳樹 訳

ISBN : 978-4-87311-460-6  
オライリー・ジャパン刊  
A5判・216ページ  
定価2,200円(税抜)  
2010年7月刊

## アプレントゥィスシップ・パターン

### 徒弟制度に学ぶ熟練技術者の技と心得

本書は「なりたて」のソフトウェア技術者が「熟練職人」になるための心得や行動パターンをまとめたものである。中世ヨーロッパに広く普及していた職人たちの「ギルド」における徒弟制度をモデルにして記述しているのが特徴である。

「無知をさらけ出す(Expose Your Ignorance)」、「学びを共有する(Share What You Learn)」、「自分の地図を描く(Draw Your Own Map)」、「練習、練習、練習(Practice, Practice, Practice)」など著者が出会ってきた熟練職人たちの「経験」から抽出された、徒弟に学んでもらいたいパターンがその解説とともに紹介されている。例えば、自分の知識不足を感じた時にどう振る舞うべきなのかについて、次のようにアドバイスがある。わからないことを質問することが大切。ただし、そのままだと生涯他のメンバに依存し続けることとなるので、「無知をさらけ出す」と「無知に向き合う」と、そのバランスを取ることが重要である。

目から鱗が落ちるといってもいいものばかりではないが、eXtreme Programming、アジャイル、ペアプログラミングといったものが普及してきた現代こそ再認識すべきパターンがあると感じた。アプレントゥィスからジャーナマン、今ではクラフトマンとなっている皆様にとっても、本書にあるいくつかのパターンは以前から持っていた疑問を解消してくれるものとなるのではないだろうか。(遠藤 秀則)